



令和4年度

多北高 FRH 通信 第11号

令和4年8月19日(金)
多北高 FRH 推進委員会
探究推進部

名大 みらい育成プログラム・第2ステージ進出

この企画は、

『気候変動、新型ウイルス出現、大国による開戦等、全人類に影響する喫緊の問題が次々と起きています。そのような地球規模の問題解決に向けて、リーダーとして若い時から国際的に活躍できるような人材の育成を目指します。』

という目的で実施されるプログラムで、3つのステージ（講義、ワークショップ、研究体験）で構成されている。

<第1ステージ：講義>

実施日は7月9日(土)、7月16日(土)、7月18日(祝日)、7月24日(日)の計4日間。

目的は「地球規模の問題の特徴を理解すること」である。名大の外国人または日本人教員が講義を1日1つ、4日間行われた。受講生は、外国人または日本人教員による60分間の英語または日本語での講義に参加し、質疑応答20分間の後、筆記課題に日本語で回答し当日中にオンラインで提出した。

4回の筆記課題の成績により、第2ステージへ進む32人が選抜された。

<第2ステージ：問題解決演習>

第1ステージより32人を選抜して実施。

実施日は、8月17日(水)～10月16日(日)のうち計9日間を英語で実施。

目的は「問題解決の手法を学ぶこと」及び「コミュニケーション能力を高めること」である。演習で取り上げるテーマと外国人講師は毎回異なり、全チームが毎回英語で口頭発表をする。

演習での取組、作成した資料、口頭発表、面接等の評価により、第3ステージへ進む16人が選抜される。

<第3ステージ：研究体験>

第2ステージより16人を選抜して実施される。

実施日は、海外研修の事前研修として10月29日(土)～翌年2月18日(土)の土曜日のうち計7日間を予定し。

3～4人の新しいチームで名大の研究室に配属され、そこが使用する研究手法について学び、テーマと計画を決め、研究を実施する。

2023年3月上旬に予定されている海外研修では、ドイツの環境都市であるフライブルク市や、欧州連合の拠点であるフランスのストラスブール市を訪れ、世界規模問題に向けたヨーロッパの先進的な取り組みについて当事者から現地で学ぶ。さらにフライブルク市内の高校で自分たちの研究成果を発表する。

本校からは2名が第1ステージに参加し、そのうちの1名が第2ステージへの進出を決めた。